2009 年度 小委員会活動成果報告

（2010　年　2 月　5 日作成）

小委員会名	日本建築史小委員会	主 査 名：川本　重雄 就任年月：2007　年　4 月
所属本委員会 （所属運営委員会）	歴史意匠委員会	委員長名：谷　直樹 主 査 名：
設　置　期　間	2009　年　4 月　～　2011　年　3 月	
設　置　目　的 各年度活動計画 （箇条書き）	・日本建築史研究成果の情報交換 ・日本建築史研究の活性化と研究成果の公表 ・日本建築史様式史の再構築を目指した研究会・シンポジウムの開催	
委員構成 （委員名（所属））	委員公募の有無：	
	川本重雄（京都女子大学）・藤井恵介（東京大学）・羽深久（札幌市立大学）・高橋恒夫（東北工業大学）・吉田純一（福井工業大学）・大和智（筑波大学）・麓和善（名古屋工業大学）・波多野純（日本工業大学）・谷直樹（大阪市立大学）・村田健一（文化庁）・光井渉（東京芸術大学）・大野敏（横浜国立大学）	
設置 WG （WG 名：目的）		
2009 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：

項　　目	自己評価
委員会開催数	2　回（年度内計画を含む）
刊行物 （シンポジウム資料等は除く）	1．なし
講習会	1．　参加者数　　名
催し物 （シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等）	1．研究会「日本寺院建築史と住宅建築史の接点と境界」 参加者数 50　名 研究会配布資料を作成、報告書を作成中 2．日本建築史の観点から民家に関する研究会を 2010 年 3 月 30 日に計画 参加者数　　名
大会研究集会	1．なし　参加者数　　名
対外的意見表明・パブリックコメント等	1．なし
目標の達成度 （当初の活動計画と得られた成果との関係）	1．2010 年 1 月 23 日の研究会は参加者も多く、熱心な議論が行えた。 2． 3．
委員会活動の問題点・課題	1．シンポジウムの企画が『建築雑誌』等の締め切りに間に合わず、広報に課題がある。

＊小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。